

平成22年度 第4回被服学教育FD/ICT活用研究委員会 議事概要

- I. 日時 : 平成23年3月9日(水) 13時00分～15時15分まで
- II. 場所 : 私立大学情報教育協会事務局会議室
- III. 出席者: 高部啓子委員、阿部栄子委員、角田由美子委員、軽部幸恵委員、
伊佐治せつ子委員、山口恵子委員、田中早苗委員、鈴木美和子アドバイザー
(事務局) 井端事務局長、森下幹事、松本職員
- IV. 議事概要

1. 議事に先立ち、事務局長より本日配布の参考資料1、2、3についての概説があった。

- 1)21世紀を生き抜く人材に必要な資質は「知情意の総合力」
- 2)対話型授業、学生に考えさせる授業
- 3)今、求められる力を高めるための学習指導

2. 学士力実現に必要なICT活用の授業モデル案のまとめ

委員会で決定した授業モデル2案について、前回宿題となった各チームの「授業モデル案」について、A4用紙にまとめた資料をもとに説明を行い、モデル案の内容について検討した。

これを完成して、「中間まとめ」とし、インターネット上に公開し、意見の集約し、中間まとめの確定となる。

① 『ブランド企画について』

授業名; ブランドデザイン 配付資料… ③.1

到達度として学生が身につける能力(学士力考察4-③、3-③)

- ・アパレル製品の情報収集、コンセプト策定、デザインを考えることができる。
- ・ファッションプレゼンテーションができる。

授業デザイン

- ・授業のねらい

3名程度のグループでの授業。3年生対象。

衣服を製作して、それを他者に伝える・説明するという論理的思考力を高める。

- ・授業計画(15週)

ターゲットの詳細を明らかにし、ブランドコンセプトの確定。

素材研究を経て、作品製作過程のボード作成。プレゼンテーションの実施。

9～10週目で中間発表。

14～15週目にプレゼンテーションと相互評価。企業も含め、ネット上で発表会開催。

② 『素材とパターンについて』

授業名; 素材の風合いとドレープ生(90分2コマ) 配付資料…③.2

目標；1)素材の風合いとドレープ性を理解する。

2)素材のプロパティを理解する。

3)ドレープ性（剛軟度・目付・布厚）を理解する。

内容；サーキュラー型にカットされた衣服の静止画像と布地特性との関係（実験1～3）について説明された。

本報告における問題点として、布の自重によるドレープ変化の扱い、織り組織・布組成・布表面の特徴とドレープ性などに関しての問題点が議論され、4月上旬までに、再構成することとなった。まず、3名の担当委員の中で再度検討し、事務局に4月上旬までに提出する。

③ 本日のまとめ

学士力実現に必要な ICT 活用の授業モデル案のうち、「ブランド企画」案については、本日の提示案を中間報告とし、「素材とパターン」案については、再度検討するとした。

3. 次回の開催日

4月5日（火）、6日（水）、9日（土）の3日間について、後日、メールを通して日程調整を行う。